

2022

京都開催の国際会議

2022.1.1~2022.12.31

令和5年6月発行

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

INDEX

はじめに	01
本国際会議統計に関して	02
1 2022年に京都で開催された国際会議<概要>	03
1.京都市域	03
2.京都府域（京都市域を除く）	03
2 2022年に京都で開催された国際会議<詳細>	04
1.京都市域内開催分	
〔1〕年別 開催実績	04
〔2〕会場別 開催件数（上位）	04
〔3〕主要都市 開催件数	04
〔4〕月別実績表	05
〔5〕過去の月別 開催件数（京都市域分/全国）	05
〔6〕総参加者数別 開催件数	06
〔7〕海外参加者数別 開催件数	06
〔8〕国内参加者数別 開催件数	06
〔9〕参加国数別 開催件数	07
〔10〕開催日数別 開催件数	07
〔11〕分野別 開催件数・構成比	07
2.京都府域内開催分（京都市域除く）	07
3 国際統計との比較	08
4 総参加者が1,000名以上または、海外参加者が200名以上の国際会議	09
5 京都における新型コロナウイルス感染症拡大によるMICEへの影響	11
6 新型コロナウイルス感染症関連の主な出来事	12
MICEサポートサービス、京都MICE基金のご案内	13
京都文化交流コンベンションビューロー主な事業内容	14
京都文化交流コンベンションビューロー概要	15

はじめに

当財団はかねてより京都府・京都市・京都商工会議所・MICE関連施設・会員の皆様とともに、オール京都体制にて積極的にMICE誘致に取り組んで参りました。特に、京都が2013年に日本のMICE誘致をけん引する「グローバルMICE都市」として選定されたことを契機に、よりステップアップした取り組みの強化を図りました。その結果、国際会議開催実績において、2019年には、JNTO(日本政府観光局)基準で過去最高件数の383件、ICCA(International Congress and Convention Association)基準では「京都市MICE戦略2020」で掲げた世界順位35位を達成することができました。

しかし、2020年初頭からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、京都で開催された国際会議の件数は、2020年、2021年と大きく減少いたしました。

この間、当財団では、2020年に「ウィズコロナ社会におけるMICE京都モデル」を策定し、新たに設けた助成金制度を通じた安心・安全なMICE開催を実現して参りました。また、ワクチン接種の実施によるMICE参加者の受入環境の整備、ステークホルダーとの関係性強化等を行いながら、水際対策緩和や文化庁京都移転、大阪・関西万博等先を見据えた積極的な誘致活動を展開して参りました。

2022年は、コロナの完全収束には至らないものの、まん延防止等重点措置や水際対策等の制限が徐々に緩和されたことを追い風に、コロナ下においても継続した主催者への働きかけなど様々な取組が功を奏し、京都府域全体では76件(京都市域70件)となり、前年より大幅に増加しました。また、ミーティング・インセンティブの開催も急増し、2022年、多くのブランド・メーカーによる開催を支援致しました。

今後も引き続き、会員企業・団体の皆様、京都府、京都市、京都商工会議所、国立京都国際会館・京都市勤業館みやこめっせ等の各MICE施設、京都府警、京都大学等各大学など関係者の皆様方との連携をさらに強化するとともに、より一層良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

本統計は、2022年(1~12月)に京都で開催された国際会議の開催実績であり、今後の誘致活動等の基礎となるものです。ご高覧の上、京都における国際会議開催についてご理解を深めていただければ幸いです。

結びに、本統計の作成にあたり各方面の関係者の皆様方より多大なるご理解とご協力を頂きましたことに、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

本国際会議統計に関して

◆ 本統計は 2022 年(1～12月)に、京都市域内で開催された国際会議と京都市域を除く京都府域で開催された国際会議の2区分を記載しています。

統計収集にあたっては(公財)京都文化交流コンベンションビューローが京都の各会議施設・大学・研究機関・各種団体並びに会議主催者のご協力を得て作成しました。

◆ 本統計における分析項目は日本政府観光局(JNTO)から発表された「2021年国際会議統計」と「2021年の京都市域で開催された国際会議データ」も参考にしています。

◆ 京都で開催された国際会議(P.03～07)における数値の取扱いについて
新型コロナウイルス感染症の影響で、ハイブリッド開催やオンライン開催など、さまざまな会議形態が存在するため、下記の通り整理し、その中で基準を満たすものを計上しています。

現地開催	以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上(JNTO 基準) ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50名以上 ③ 参加国数：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ハイブリッド開催	・ 現地開催とオンライン開催を併せた開催形態 ・ 現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上
オンライン開催	・ オンラインのみで開催される開催形態 ・ 現地参加者が存在しないため計上しない

◆ 国際会議統計基準について

国際会議統計に関しては、主に

- ・ JNTO (日本政府観光局)
- ・ ICCA (国際会議協会：International Congress and Convention Association)
- ・ UIA (国際団体連合：Union of International Associations)

から発表される統計数値が参考にされるケースが国内では一般的です。

統計手法や基準が各々異なるため、比較できないことに留意しながら各データを活用する必要があります。

団 体	国際会議基準(抜粋)
JNTO (日本政府観光局)	以下の①～④の全てを満たす会議 ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50名以上 ③ 参加国数：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ICCA (国際会議協会： International Congress and Convention Association)	①開催国について：3カ国以上での持ち回りの開催実績がある会議(2カ国間会議は除外) ②参加者総数：50名以上 ③開催期間：定期的に開催している(1回のみ開催した会議は除外)
UIA (国際団体連合： Union of International Associations)	(1) 国際機関・国際団体(UIAに登録されている機関・団体)の本部が主催又は後援した会議 ①参加者数：50名以上 ②参加国数：開催国を含む3カ国以上 ③開催期間：1日以上 又は (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議 ①開催国以外からの参加者(外国人比率)が少なくとも総参加者の40% ②参加者総数：300名以上 ③参加国数：5カ国以上 ④開催期間：3日以上

1

2022年に京都で開催された国際会議 < 概要 >

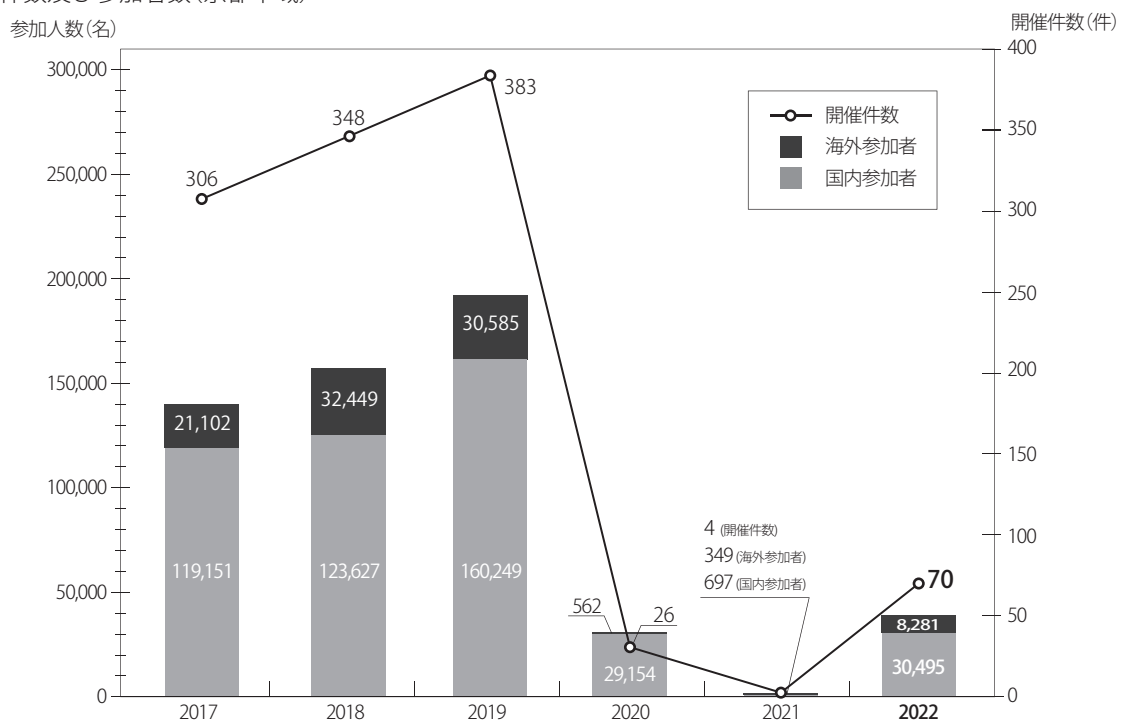
新型コロナウイルスの感染拡大から3年目となった2022年は、まん延防止等重点措置や水際対策等の制限が徐々に緩和されたこと追い風に、コロナ禍の取組が功を奏し、国際会議の開催が府域全体で76件と前年より大幅に増加した。

また、当財団が誘致から支援を行ってきた「2022 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS2022)」をはじめとした、参加者数が500名以上の大型国際会議が24件開催されたことから、市域では昨年の37倍の参加者数となり、コロナによって影響が出始めた2020年も大きく上回る参加者数を記録した。

1. 京都市域

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	前年比	2019年比
開催件数	306件	348件	383件	26件	4件	70件	1750.0%	18.3%
海外参加者数	21,102名	32,449名	30,585名	562名	349名	8,281名	2372.8%	27.1%
国内参加者数	119,151名	123,627名	160,249名	29,154名	697名	30,495名	4375.2%	19.0%
総参加者数	140,253名	156,076名	190,834名	29,716名	1,046名	38,776名	3707.1%	20.3%

◆ 年別開催件数及び参加者数(京都市域)



2. 京都府域(京都市域を除く)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
開催件数	30件	19件	16件	3件	0件	6件
海外参加者数	1,572名	1,097名	1,330名	111名	0名	140名
国内参加者数	13,452名	14,840名	13,786名	194名	0名	2,046名
総参加者数	15,024名	15,937名	15,116名	305名	0名	2,186名

2

2022年に京都で開催された国際会議 < 詳細 >

1. 京都市域内開催分

〔1〕年別 開催実績

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
開催件数	176	202	218	278	306	348	383	26	4	70
総参加者数	96,020	127,879	153,495	202,996	140,253	156,076	190,834	29,716	1,046	38,776
海外参加者数	15,868	16,484	17,022	26,602	21,102	32,449	30,585	562	349	8,281

〔2〕会場別 開催件数(上位)

施設名	開催件数		海外参加者数	国内参加者数	総参加者数		平均参加国数
		前年				前年	
国立京都国際会館	18	2	6,356	17,503	23,859	400	25.4
京都大学(百周年時計台記念館、数理解析研究所、基礎物理学研究所、芝蘭会館等を含む)	14	1	454	1,995	2,449	201	8.1
同志社大学	6	0	187	992	1,179	0	7.2
ザ・プリンス京都宝ヶ池	6	0	4,849	5,939	10,788	0	39.8

※複数の会場(施設)で開催されている場合は、開催件数を各施設1件ずつ計上している。※前年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」分析データより。

〔3〕主要都市 開催件数

	京 都	東 京	横 浜	名古屋	大 阪	神 戸	福 岡
2013年	176 (4)	531 (1)	226 (3)	143 (6)	172 (5)	93 (8)	253 (2)
2014年	202 (3)	543 (1)	200 (4)	163 (5)	130 (6)	82 (9)	336 (2)
2015年	218 (4)	557 (1)	190 (5)	178 (6)	139 (7)	113 (8)	363 (2)
2016年	278 (3)	574 (1)	188 (6)	200 (5)	180 (7)	260 (4)	383 (2)
2017年	306 (3)	608 (1)	176 (6)	183 (5)	139 (7)	405 (2)	296 (4)
2018年	348 (3)	645 (1)	156 (6)	202 (5)	152 (7)	419 (2)	293 (4)
2019年	383 (3)	561 (1)	277 (5)	252 (6)	204 (7)	438 (2)	313 (4)
2020年	26 (2)	63 (1)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	23 (3)	15 (4)
2021年	4 (2)	3 (3)	13 (1)	0 (-)	0 (-)	1 (5)	0 (-)
2022年	70	—	—	—	—	—	—

※「日本政府観光局(JNTO)2021年国際会議統計」より。

※()内は全国順位。

※2021年の各都市の開催件数は現在未公表。

※2015年、仙台221件(3位)。

※2020年、千里地区13件(5位)、仙台10件(6位)。

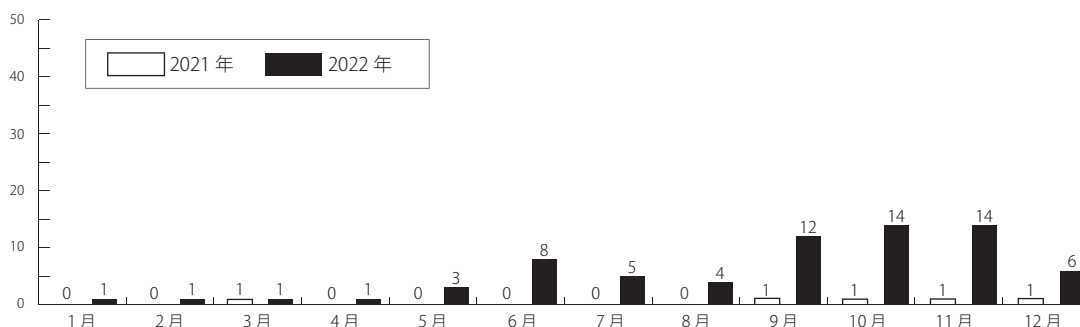
※2021年、北九州市2件(4位)。

〔4〕月別実績表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
開催件数	1	1	1	1	3	8	5	4	12	14	14	6	70	5.8
割合(%)	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	4.3%	11.4%	7.1%	5.7%	17.1%	20.0%	20.0%	8.6%		
海外参加者数	36	12	20	9	132	227	113	324	403	5,499	830	676	8,281	690
国内参加者数	38	64	80	306	3,120	6,706	2,016	1,302	7,556	3,889	4,789	629	30,495	2,541
参加者総数	74	76	100	315	3,252	6,933	2,129	1,626	7,959	9,388	5,619	1,305	38,776	3,231
平均参加国数	12.0	9.0	10.0	4.0	5.3	8.6	5.0	7.3	13.1	26.9	8.1	12.0	10.1	

◆ 2021年および2022年開催件数(京都市域分)

開催件数(件)



〔5〕過去の月別開催件数(京都市域分/全国)

1)過去の開催件数：京都市域分

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均	
京都市域分	2019年	17 4.3%	24 6.1%	46 11.8%	10 2.6%	27 6.9%	35 9.0%	32 8.2%	24 6.1%	77 19.7%	31 7.9%	36 9.2%	32 8.2%	391	32.6	
	2020年	7 25.0%	16 57.1%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%	28	2.3
	2021年	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	5	0.4	

※合計がP4の(1)年別開催実績の同年の数値と異なるのは、KCVB調べとJNTO調べの誤差の範囲であり、傾向には影響を与えない。

2)過去の開催件数：全国

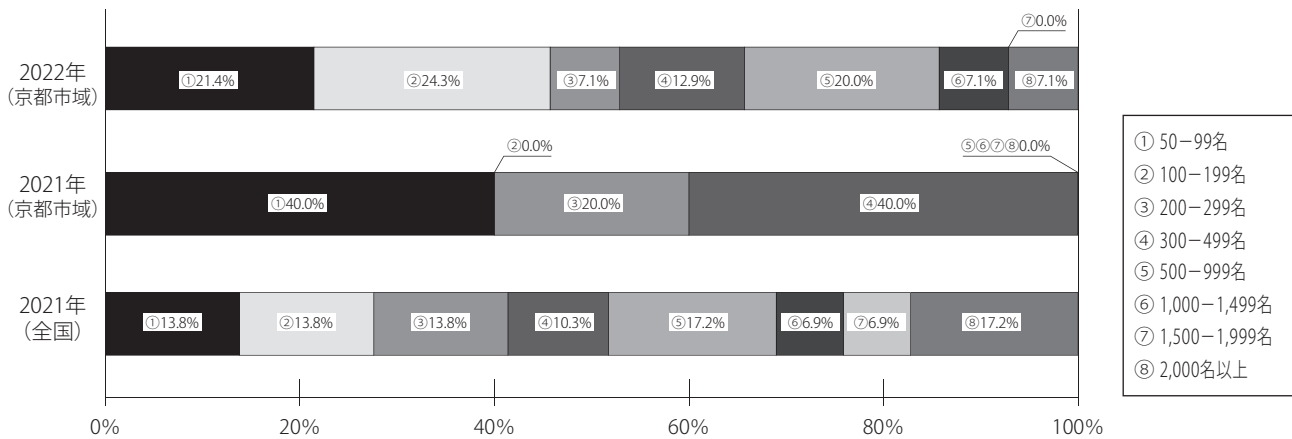
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
全国	2019年	169 4.7%	221 6.1%	317 8.8%	141 3.9%	285 7.9%	315 8.7%	297 8.2%	311 8.6%	416 11.5%	426 11.8%	484 13.4%	239 6.6%	3,621	301.7
	2020年	94 42.3%	117 52.7%	3 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	3 1.4%	3 1.4%	222	18.5
	2021年	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	2 6.9%	2 6.9%	0 0.0%	3 10.3%	0 0.0%	1 3.4%	7 24.1%	7 24.1%	5 17.2%	29	2.4

※「日本政府観光局(JNTO)2021年国際会議統計」より。

〔6〕総参加者数別 開催件数

参加者数		50-99名	100-199名	200-299名	300-499名	500-999名	1,000-1,499名	1,500-1,999名	2,000名以上
2022年	参加者数	15	17	5	9	14	5	0	5
	割合(%)	21.4%	24.3%	7.1%	12.9%	20.0%	7.1%	0.0%	7.1%
2021年	参加者数	2	0	1	2	0	0	0	0
	割合(%)	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全 国	2021年	4	4	4	3	5	2	2	5
	割合(%)	13.8%	13.8%	13.8%	10.3%	17.2%	6.9%	6.9%	17.2%
2020年	参加者数	88	60	22	19	15	7	0	11
	割合(%)	39.6%	27.0%	9.9%	8.6%	6.8%	3.2%	0.0%	5.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。 ※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2021年国際会議統計」より。



〔7〕海外参加者数別 開催件数

参加者数		1-9名	10-49名	50-99名	100-199名	200-299名	300-499名	500-999名	1,000-1,999名	2,000名以上
2022年	参加者数	20	26	11	5	1	3	3	0	1
	割合(%)	28.6%	37.1%	15.7%	7.1%	1.4%	4.3%	4.3%	0.0%	1.4%
2021年	参加者数	2	1	1	0	1	0	0	0	0
	割合(%)	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。

〔8〕国内参加者数別 開催件数

参加者数		1-9名	10-49名	50-99名	100-199名	200-299名	300-499名	500-999名	1,000-1,499名	1,500-1,999名	2,000名以上
2022年	参加者数	0	5	16	15	6	9	12	3	0	4
	割合(%)	0.0%	7.1%	22.9%	21.4%	8.6%	12.9%	17.1%	4.3%	0.0%	5.7%
2021年	参加者数	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0
	割合(%)	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。

〔9〕参加国数別 開催件数

参加国数	3-5カ国	6-9カ国	10-14カ国	15-19カ国	20-29カ国	30-49カ国	50カ国以上
2022年	28	18	7	6	4	4	3
割合(%)	40.0%	25.7%	10.0%	8.6%	5.7%	5.7%	4.3%
2021年	2	0	2	1	0	0	0
割合(%)	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。

〔10〕開催日数別 開催件数

開催日数	1日	2日	3日	4日	5日	6-7日	8日以上
2022年	7	16	24	11	7	2	3
割合(%)	10.0%	22.9%	34.3%	15.7%	10.0%	2.9%	4.3%
2021年	0	1	1	0	2	1	0
割合(%)	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。

〔11〕分野別 開催件数・構成比

分野	2022年		2021年		全 国	
	開催件数	割合(%)	開催件数	割合(%)	2021年	2020年
科学・技術・自然	34	48.6%	3	60.0%	37.9%	48.7%
医学	24	34.3%	0	0.0%	44.8%	17.6%
芸術・文化・教育	6	8.6%	1	20.0%	3.5%	9.0%
社会	2	2.9%	0	0.0%	10.3%	5.9%
政治・経済・法律	1	1.4%	1	20.0%	3.5%	11.3%
産業	1	1.4%	0	0.0%	0.0%	2.3%
運輸・観光	1	1.4%	0	0.0%	0.0%	1.8%
その他	1	1.4%	0	0.0%	0.0%	2.7%
宗教	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%
社交・親善	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.9%
スポーツ	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0.0%

※2021年数値は、「2021 京都開催の国際会議冊子」より。

※全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2021年国際会議統計」より。

2. 京都府域内開催分(京都市域除く)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
開催件数	30件	19件	16件	3件	0件	6件
海外参加者数	1,572名	1,097名	1,330名	111名	0名	140名
国内参加者数	13,452名	14,840名	13,786名	194名	0名	2,046名
総参加者数	15,024名	15,937名	15,116名	305名	0名	2,186名

3

国際統計との比較

1. ICCA 統計(2022年)での各都市ランキング

<国内都市上位ランキング及び世界ランキング>

都市名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2022年	2019年 国内順位
東京	80 (28位)	95 (21位)	101 (18位)	123 (13位)	131 (10位)	39 (41位)	1
京都	45 (57位)	58 (44位)	46 (50位)	59 (41位)	67 (35位)	29 (66位)	2
札幌	18 (139位)	17 (152位)	24 (108位)	20 (143位)	25 (117位)	15 (138位)	3
横浜	22 (117位)	21 (120位)	16 (165位)	25 (110位)	21 (143位)	15 (138位)	3
神戸	13 (191位)	21 (120位)	10 (266位)	21 (134位)	35 (82位)	10 (186位)	5
名古屋	14 (182位)	16 (160位)	25 (104位)	19 (154位)	19 (159位)	9 (202位)	6
仙台	9 (254位)	13 (203位)	7 (325位)	22 (129位)	17 (176位)	9 (202位)	6
福岡	30 (85位)	23 (111位)	17 (156位)	26 (103位)	28 (108位)	8 (223位)	8
広島	4 (-)	9 (279位)	8 (299位)	13 (214位)	13 (210位)	8 (223位)	8
金沢	6 (335位)	8 (301位)	14 (193位)	7 (335位)	5 (424位)	8 (223位)	8
松江	1 (-)	5 (392位)	6 (358位)	6 (365位)	7 (332位)	7 (256位)	11
北九州	5 (373位)	7 (324位)	8 (299位)	8 (302位)	7 (332位)	6 (292位)	12
富山	-	-	-	-	6 (377位)	6 (292位)	12
大阪	23 (115位)	25 (100位)	17 (156位)	15 (196位)	21 (143位)	5 (326位)	14

※件数(カッコ内は世界順位)
 ※順位・件数は各年発表時点の2022 ICCA Business Analytics -Country & City Rankings- 参照
 ※新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、2020年、2021年の都市ランキングは発表されていません。

<2022年世界都市上位10位ランキング>

順位	都市名	開催件数
1	ウィーン	162
2	リスボン	144
3	パリ	134
4	バルセロナ	133
5	プラハ	129
6	マドリード	128
7	ベルリン	113
8	アテネ	109
9	ブリュッセル	108
10	ロンドン	106

<2022年アジア・オセアニア都市上位15位ランキング>

順位	都市名	開催件数
1	シンガポール	101
2	ソウル	66
3	台北	55
4	バンコク	50
5	東京	39
6	クアラルンプール	35
7	シドニー	34
8	メルボルン	31
9	京都	29
10	済州島	27
11	バリ島	24
12	ニューデリー	20
13	北京	19
14	釜山	17
15	上海	16

2. UIA 統計(2021年)での各都市ランキング(2022年統計は現在未公表)

<2021年世界都市上位10位ランキング>

順位	都市名	開催件数
1	ブリュッセル	319
2	ソウル	265
3	東京	258
4	ウィーン	195
5	パリ	153
6	シンガポール	134
7	ロンドン	101
8	リスボン	94
9	ジュネーブ	87
10	バルセロナ	67
10	ドバイ	67

※上記の数値は、UIAが設定する統計基準に基づいたデータを、日本政府観光局(JNTO)が順位付けしたものとなる。
 (基準の詳細はP2を参照)

<2021年国内都市上位ランキング>

順位		都市名	開催件数
世界	国内		
3	1	東京	258
-	2	京都	27

※世界順位は判明している都市の順位のみを記載。

4

総参加者が 1,000 名以上または、 海外参加者が 200 名以上の国際会議(16 件 / 会期順)

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
5/13~5/15	第103回日本消化器内視鏡学会総会／第3回国際消化器内視鏡会議 (ENDO2022)	3	2	2,300	2,302	国立京都国際会館
6/2~6/5	第121回日本皮膚科学会総会	5	5	3,200	3,205	国立京都国際会館、 ザ・プリンス京都宝ヶ池
6/30~7/1	第47回日本睡眠学会定期学術集会	5	15	2,485	2,500	ウェスティン都ホテル京都
8/21~8/25	第16回世界脳神経血管内治療学会 (WFITN2022)	16	264	562	826	国立京都国際会館、 ザ・プリンス京都宝ヶ池
9/7~9/11	第13回世界核医学会 (WFNMB2022)	68	113	999	1,112	国立京都国際会館
9/17~9/19	日本植物学会第86回大会	8	8	1,127	1,135	京都府立大学
9/16~9/18	第56回日本作業療法学会	8	7	1,418	1,425	国立京都国際会館
9/23~9/25	第70回日本心臓病学会学術集会	8	50	2,450	2,500	国立京都国際会館
10/12~10/16	第29回国際高血圧学会 (ISH) 第17回アジア太平洋高血圧学会 (APSH) 第44回日本高血圧学会 (JSH)	86	587	878	1,465	国立京都国際会館、 ザ・プリンス京都宝ヶ池
10/23~10/27	知能ロボットとシステムに関する国際会議 (IROS2022)	45	3,383	938	4,321	国立京都国際会館、 ザ・プリンス京都宝ヶ池
10/1~10/4	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 第19回年次総会	80	570	330	900	国立京都国際会館、 ザ・プリンス京都宝ヶ池

期 間	会 議 名	参加国数 (日本含)	海外 参加者数	国内 参加者数	参加者 総数	会 場
10/19～10/21	ROSCon 2022	38	519	282	801	国立京都国際会館
11/24～11/26	第52回日本臨床神経生理学会学術大会 第59回 日本臨床神経生理学会 技術講習会	5	4	1,183	1,187	国立京都国際会館
11/6～11/8	FAOPMA PEST SUMMIT 2022 京都大会	32	458	400	858	国立京都国際会館
12/5～12/8	世界耳科内視鏡外科学会 (EES2022)	10	300	200	500	ロームシアター京都、 京都市勤業館みやこめっせ
12/5～12/10	第20回CIGR国際会議	21	300	150	450	国立京都国際会館

(注)上記のほか、1件は公開不可の為、記載を省略。

5

京都における新型コロナウイルス感染拡大による MICE への影響

2022年は、コロナ禍に生まれたオンライン配信、現地開催を混合させるハイブリッド開催が主流な開催方式であったが、その一方、まん延防止等重点措置や水際対策等の大幅緩和など移動制限の緩和により、現地参加が容易になり、コロナ前までの開催形式である現地開催が急増した。同時に、中止・延期は大幅に減少した。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、延期・中止が急増した2020年、オンライン開催が急増しながらも現地開催・ハイブリッドが少しずつ回復し、延期・中止が減少した2021年を経て、その開催形式はコロナ前に回帰しつつある。

ハイブリッド開催は、遠方の講演者、若手研究者・学生等の学会への参加が容易になるなどメリットもあることから、一定の割合で残っていくと思われる。その一方で、参加者の多くは対面でのリアルなコミュニケーションを求めており、オンライン配信においても、世界各地との時差、配信に係るオペレーター等支出の増加、会場・視聴環境における通信速度等の課題もあることから、大きな流れとしては現地開催にシフトしていくものと考えられる。

京都で開催された国内および国際会議の会議形態別件数と月別の変化

◆対象となる 329 件の内訳

	件数	現地開催	ハイブリッド開催
京都市域	329	134	195

◆対象となる 329 件の月別件数

	件数	現地開催	ハイブリッド開催
1月	19	9	10
2月	23	3	20
3月	30	8	22
4月	12	0	12
5月	20	8	12
6月	21	6	15
7月	27	11	16
8月	16	10	6
9月	50	26	24
10月	56	22	34
11月	36	22	14
12月	19	9	10

※2022年末時点で当財団が把握している参加者50名以上(または想定される)の国内・国際会議開催件数である。

6

新型コロナウイルス感染症関連の主な出来事

年月日		主な出来事
2022年	1月9日 ～1月31日	まん延防止等重点措置 3 県に適用(沖縄県、山口県、広島県)
	1月21日 ～2月13日	まん延防止等重点措置 13 都県に適用(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、新潟県、愛知県、岐阜県、三重県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県)
	1月27日 ～2月20日	まん延防止等重点措置 18 道府県に適用(北海道、青森県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、石川県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、兵庫県、島根県、岡山県、福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県) 3 県延長(沖縄県、山口県、広島県)
	2月5日 ～2月27日	まん延防止等重点措置 1 県に適用(和歌山県)
	2月12日 ～3月6日	まん延防止等重点措置 1 県に適用(高知県)、13 都県延長(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、新潟県、愛知県、岐阜県、三重県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県)
	3月1日	水際対策緩和 観光除く外国人の新規入国再開
	3月7日 ～3月21日	まん延防止等重点措置 13 県解除、17 道府県延長(北海道、青森県、福島県、茨城県、栃木県、石川県、長野県、静岡県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、鹿児島県)
	3月22日	まん延防止等重点措置 すべての地域で解除
	4月10日	一日当たりの入国者数上限を 1 万人に引き上げ
	6月1日	一日当たりの入国者数上限を 2 万人に引き上げ、一部の国や地域からの入国者には入国時の検査などを免除
	6月10日	外国人観光客受け入れ 2 年ぶり再開(添乗員付きツアー)
	8月23日	外国人観光客の入国制限緩和 添乗員なしツアーも認める
	9月7日	水際対策緩和、すべての入国者に求めてきた陰性証明書の提出が条件付きで免除
	10月11日	水際対策大幅緩和、入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行客の入国も解禁

MICEサポートサービスのご案内

誘致中～開催中までのサポート

◆各種助成金制度の活用

国際会議からミーティング、インセンティブまで、MICE のイベントタイプ、規模にあわせた助成金制度や、イベント記念品、通訳ガイドなどの費用を補助する制度など、様々な助成金制度をご用意しております。

◆京都PR映像の貸出

3 パターンのイメージ映像から、用途に合わせた使用が可能です。

◆京都の写真画像の貸出

会議ウェブサイト、会議案内チラシ、プログラム等に活用できる京都の写真画像を貸出します。
『京都イメージバンク』 <https://kyoto-imagebank.com/ja>

開催決定前のサポート

1 誘致用京都 PR ツールの提供

絵はがき、舞妓ピンバッジなどの誘致用 PR グッズを提供いたします。



2 京都 PR バナーの貸出

京都開催を PR するためのバナースタンド一式を貸出いたします。



3 コンベンション主催者の視察受入れ支援

4 ビッドペーパー、プレゼン資料の作成支援

開催決定後のサポート

1 便利な観光地図を提供

2 お得な地下鉄・市バス一日乗車券の発売

通常 1,100 円の地下鉄・市バス共通 1 日乗車券が破格の 700 円で購入いただけます。フリーデザインも可能！

3 ユニークなレセプション会場の案内

京都らしい施設・会場をご紹介します！

4 府市民向け公開講座の広報支援

府市民向け公開講座を開催されるにあたり、広報に協力いたします。(チラシの配架協力)

5 京都伝統産業製品の貸出

京真田紐を用いたネクストラップや会議装飾となる京扇子などの伝統産業製品を貸出します。

6 京都らしいエクスカージョンのご紹介

寺院・神社での体験など、京都らしい特別なエクスカージョンプログラムをご紹介します。

「京都MICE基金」のご案内



「京都 MICE 基金」は、京都の多彩な文化・芸術や、豊かな自然環境、美しい景観の保全・継承・活用を図り、京都の魅力や人々の暮らしの向上、MICE・観光振興及び SDGs 達成に寄与する取組みを支援いたします。

支援先について

- 京都の伝統文化、祭事、芸能、伝統工芸の継承や保全、活用等促進に係る取組
- 京都の文化財、歴史的建造物などの保全、利用等促進に係る取組
- 京都の環境保全に資する取組
- 文化芸術都市ならではの取組
- 京都が目指す SDGs 達成に資する取組

寄附方法

クレジット

京都 MICE 情報サイトの専用ページから。
<https://meetkyoto.jp/ja/kyoto/fund>

銀行振込

三菱 UFJ 銀行 京都支店 普通 1281483
公益財団法人
京都文化交流コンベンションビューロー
理事長 村田 純一

募金箱

MICE 関連施設に募金箱を設置。
設置場所は基金専用サイトで
ご確認いただけます。

寄附控除について

当財団に対する寄附金には、寄附金控除が適用されます。また、京都府市民の方からの寄附金は、個人府民税・個人市民税の寄附金税額控除の適用対象とされます。

京都 MICE 基金に関するお問い合わせ

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
TEL 075-353-3053 / micefund@hellokcb.or.jp



主な事業内容

国際観光コンベンション事業(公益目的事業)

コンベンション(MICE)事業

■ MICE 関連情報の調査・収集・啓発

- ① 業界情報収集強化
- ② 大学・学術団体・学会へのコンベンション情報収集・啓発活動の強化
- ③ 統計調査・発行
- ④ MICE 振興に関わる課題解決の推進
- ⑤ 「京都スマートシティエクスポ」への事業協力等を含めた関西文化学術研究都市推進への参画
- ⑥ 「ウィズコロナ社会における MICE 京都モデル」の周知

■ プロモーション事業

- ① 内外ネットワーク(情報収集力)の強化
- ② 政府関連特定会議等の積極的な誘致
- ③ 海外プロモーション活動
- ④ 国内プロモーション活動
- ⑤ MICE 主催者等の京都視察受入れ
- ⑥ 「大規模国際コンベンション誘致支援助成金」の活用(京都市)

■ MICE 開催支援事業

- ① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力
- ② MICE 開催支援に係る京都市の助成制度活用
- ③ 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用
- ④ 京都市「サステナブルな MICE 開催支援補助制度」の活用
- ⑤ 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用
- ⑥ 「京都 MICE 基金」の運用
- ⑦ オフサイト・レセプション等の企画・提案
- ⑧ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

■ MICE に関する広報宣伝事業

- ① メールマガジン、ホームページによる京都 MICE 関連情報の発信
- ② 国内外の MICE 専門誌等への情報提供、及び取材活動への支援
- ③ 広報発表等を通じた MICE 振興の意義や効果などの関係業界・府市民への啓発

京都版 DMO 主体事業(京都市観光協会との共同事業)

■ インバウンドプロモーション

- ① 海外情報拠点管理運営事業
- ② 京都市域内統計収集・分析強化(データ月報)
- ③ ウェブサイトの運用事業
- ④ ソーシャルネットワークの運用事業
- ⑤ 海外メディア取材誘致・露出強化事業
- ⑥ オンラインによる旅行博・商談会事業
- ⑦ 宿泊施設向け多言語コールセンター運営事業
- ⑧ 免税対応支援事業
- ⑨ 京都市認定通訳ガイド育成事業
- ⑩ 外国語研修実施事業
- ⑪ 旅館活性化支援事業

文化交流発信事業(公益目的事業)

古典の日推進事業

■ 「古典の日」普及啓発事業

- ① 古典の日宣言 15 周年記念
- ② 第 15 回古典の日朗読コンテスト
- ③ 第 3 回「古典の日文化基金賞」授賞式
- ④ 街かど古典カフェ

■ 情報発信・広報活動・関係団体との連携等

- ① 文化庁等との連携の強化
- ② 古典の日絵巻第十二巻

■ 「古典の日宣言」15 周年記念

文化発信事業

■ 京都迎賓館支援事業

- ① 外国賓客のもてなし
- ② 参観支援・啓発関連

■ 京都観光案内地図「四季彩京都」の発行(年 2 回)

■ 京都デジタルミュージアム「京都見聞録」活用事業

- ① 会議場・ホテル等集客施設での上映
- ② 会議主催者や団体等への貸出し

共益・収益事業

■ 賛助会員制度の運営

- ① 新規勧誘の促進
- ② 会員に対する情報提供
- ③ 会員の集いの開催

■ 「京都文化振興友の会」の運営

■ 京都迎賓館記念品の企画・販売

その他の事業(公益目的事業)

■ ホームページの運用事業

■ 会報誌「コンベンションビューロー通信」の発行(年 4 回発行)

■ 関係団体との連携等

- 「京の七夕」、「時代祭」、「京都花灯路」など オール京都事業への参画

概 要

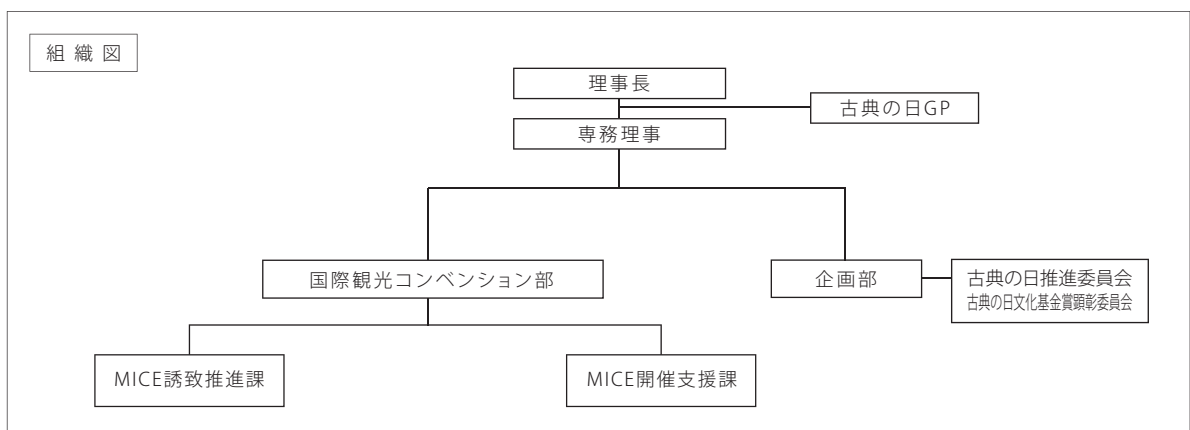
- 1 名 称 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
- 2 所 在 地 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地 京都経済センター 3 階
- 3 設 立 平成19年1月9日
※平成23年10月3日付で公益財団法人へ移行登記
- 4 目 的 文化・芸術の普及向上に努めるとともに、国内外のコンベンション誘致及び賓客等の入洛を促すことにより、京都文化を広く世界に発信し、国際的な交流拠点としての「京都」の魅力をより一層高め、活力あふれる新たな「京都」の創造に寄与する。
- 5 事業概要 (1) 京都の文化・芸術等のための事業推進と府内外への情報発信
(2) コンベンション等の誘致および賓客・海外観光客の招聘、入洛のための事業推進
(3) その他のこの法人の目的を達成するために必要な事業

6 組 織

- (1) 役員等
 - 名誉顧問 千 玄室 (茶道裏千家大宗匠)
 - 顧 問 西脇 隆俊 (京都府知事)
 - 門川 大作 (京都市長)
 - 評議員会長 柏原 康夫 (京都銀行 名誉顧問)
 - 評 議 員 12名 (産業・経済・文化・学術・行政等公的団体)
 - 理 事 長 村田 純一 (京都商工会議所 名誉会頭)
 - 副理事長 内田 俊一 (国立京都国際会館 館長)
 - (五十音順) 岡田 憲和 (京都市 副市長)
 - 千 宗室 (茶道裏千家 家元)
 - 田中 誠二 (京都商工会議所 副会頭・大和学園 理事長)
 - 山下 晃正 (京都府 副知事)
 - 専務理事 村上 圭子 (京都文化交流コンベンションビューロー専務理事)
 - 理 事 6名
 - 監 事 中村 健児 (京都銀行協会 専務理事)
 - 植村 幸弘 (京都府信用金庫協会(京都中央信用金庫常務理事))

(2) 賛助会員数 340 会員(企業 / 団体)

(3) 事務局



2022 京都開催の国際会議

令和5年6月発行

編集・発行：

公益財団法人

京都文化交流コンベンションビューロー

TEL: 075-353-3053

FAX: 075-353-3055

e-mail: toukei@hellokcb.or.jp

URL: meetkyoto.jp



Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

<https://meetkyoto.jp>

検索

